

# 犀川

令和7年11月14日  
校長 堀金 猛  
安曇野市立明科中学校

～感動する心 つなげる心 やり抜く心～

## 講座型自由進度学習

「学びの時間」に取り組みたいと思います。保護者の皆様のご意見をお聞かせください。

日頃から本校の教育活動へのご理解・ご支援感謝申し上げます。

さて、このように、学校だよりを通じて、「皆様のご意見をお聞かせください」というのは、初めてで、びっくりされる方もいらっしゃるかと思います。突然のお願いであること、大変に申し訳なく思います。

本日は、「講座型自由進度学習」（仮称：学びの時間）の試行について、ぜひ忌憚のないご意見をお伺いし、生徒・保護者・学校・地域が一体となった学校づくりに参画いただきたいと考えご通知申し上げます。今、本校は、「チャレンジと探究で「ふるさと明科」を心に刻む明科教育」をスローガンに、明科地域の園小中高校が関わりながら、『心ゆくまで探究し、人や地域とつながりのよさを感じる子ども』の育成を図っております。授業等におきましても、探究を中心にした授業づくりに努めております。

校長講話等でも、生徒が考え、生徒がつくり、職員はそれを支える学校づくり、授業づくりを目指したいと話し、そのためにしたいこと、あったらいいなと思うことを聞いて参りました。その中で、生徒の声として多かったのが、「とにかく自分たちで話し合い、聞き合い、深め合える授業を」「『ここが分からない、困った』『ここをもっと知りたい、教わりたい』『もっとこういう発展的な学習をしたい』が叶えられる場がほしい」というものでした。前半は日常の授業ですので、本校職員で考え、学び合っていきたいと思っております。後半について、具体的な生徒の声は以下の通りでした。

『間違い』とか『わからない』を言えるのがあたり前のような授業にしたい。」  
「特定の教科が不安だからみんなと相談し合えるようにしたい。」  
「苦手な教科を教えてくれる会みたいなことをやってほしいです。」  
「ある教科が不安だからみんなと相談し合えるようにしたい。」  
「苦手な単元などをそこだけ時間を取って教わってみたい。」  
「授業であまりわからなかったところをもう一度やってみる時間があったらいいと思った。」

具体的には、生徒一人一人の「ここが分からない、困った」「ここをもっと知りたい、教わりたい」「もっとこういう発展的な学習をしたい」ということを、教科や講座を設けて、自分のペースで学んだり、友や先生方と考えたりする場を設けるということです。もちろん「ここが分からない、困った」は場合によっては、小学校の学びでまだ不確かなことがあるかもしれませんが。また「もっとこういう発展的な学習をしたい」では、中学校の学びの発展した学習であるかもしれません。こういう学びを皆で認め、受け入れ、自分や友と学べるようにしたいというものです。

講座型自由進度学習、今は仮に「学びの時間」と呼んでいますが、その内容は、以下の通りです。

＜内容＞

- 1 12月に4日間、試験的に講座型自由進度学習「学びの時間」を行う。その日を45分授業とし、6時間授業であれば、1時間に5分短くなった時間を6つ合わせて、6時間目終了後、30分程度の時間で行う。
- 2 講座は国社数理英だけでなく、美術・技術家庭科・音楽等も行う。健康に関する保健等、いわゆる9教科にないものも行う。ただし、時間が少ないので、時間の中ででき、そこに先生方がつき、アドバイスできるなどの講座で行う。講座のアイデアは、生徒からも募集する。最初の目的で話したように、学ぶ内容は中学校の授業に限ることはない。自分の力を素直に考え、お互いのよさや苦手を出せること、認めることを大事に学べることにしたい。
- 3 基本は自分の「これを学びたい」という課題を行うので、学習したいことを自分で持ち込む。講座によっては友と一緒に解決もできるのではないかな。また、目的から照らして宿題を行うことはなしで、その時間に行った成果を何だかの形で提出してもらうことを考えている。
- 4 試行予定日は、12月11日（木）12日（金）15日（月）16日（火）。その後、生徒・保護者・職員の意見を聞き、今後について検討する。

この講座型自由進度学習「学びの時間」が「分からない」「間違い」が安心して語れたり、自分がしてみたい学習ができたりする場になること、そして、授業でも「わからない」「間違い」が安心して語れること、生徒が自分らしさを発揮できる授業になることにつながることを期待しています。

そこで、保護者の皆様にはお願いです。学校づくりを生徒・保護者・職員・地域とともに進めていくことを大事にしているので、ぜひ、この「講座型自由進度学習」（仮：学びの時間）について、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。生徒の約96%から賛同の声をいただいておりますが、実際になかなか自分で課題を見つけるのが難しいと考える生徒もいるかもしれません。試行ですので、お子さんや他の生徒の様子から、ご意見をいただき、一緒に学校づくりへ参画いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

#### ＜意見について＞

- 1 下記QRコードをスマホ等で読み取っていただき、フォームにご記入ください。
- 2 回答は任意です。また、ご意見は、今回の「講座型自由進度学習」のことについて お書きください。（その他のことは、同時期にある学校評価アンケートでお願いいたします）
- 3 お名前のご記入も任意とさせていただきますが、学年の傾向は知りたいので、学年の記入のみ「必須」とさせていただきます。質問等されたい場合は、お名前をいただかないと回答できませんので、お名前をご記入ください。
- 4 本日より、回答を受けつけます。実施して生徒の様子からお書きになりたい方もいらっしゃるかと思いますので、2学期のうちは、回答可能としておきます。

お忙しいところ、大変に申し訳ありませんが、ぜひお力添え、ご協力の方よろしくお願いいたします。

安曇野市立明科中学校  
校長 堀金 猛



※フォームは学年（必須）生徒氏名・保護者氏名（任意）と長文で書いていただく形です。

#### ＜学校ホームページに通信「TOCO-TON 明科」を掲載します＞

本年度より3年間、長野県教育委員会のウェルビーイング実践校「TOCO-TON」事業を、明科小中三校（明北小・明南小・明科中）が実施することになりました。この事業は、すべての子どもが「好き」「楽しい」「なぜ」を追究し、自己実現できる学校づくりを進めるものです。

明科小中三校は、『限りない探究心を、園から小・中、さらに高へ！』を、目指す学校（地域）の姿とし、「あづみの自然保育」から小中学校へと続く一人ひとりが輝く主体的・連続的な学び「明科地域の園小中高と地域の連携・交流で深める絆と郷土愛」に取り組んでいます。

明科小中三校の、「TOCO-TON」に関わる実践について記載した通信「TOCO-TON 明科」を、学校ホームページに掲載しましたのでご覧ください。今後も、適宜追加掲載していきます。

#### ＜これからの主な予定＞

##### 11月

17	月	学年費振替日
20	木	立会演説会・投票・2年血液検査
21	金	中学入学説明会
25	火	学年費再振替日
27	木	保護者懇談会①
28	金	保護者懇談会②

##### 12月

1	月	保護者懇談会③
2	火	保護者懇談会④
4	木	保護者懇談会⑤
5	金	保護者懇談会⑥
8	月	2年歯科指導
9	火	生徒会⑭・地区生徒会②
11	木	学びの時間①
12	金	学びの時間②